

年度 2009 学期 前期	曜日・校時 金・1・3	必修選択 選択	単位数 2
授業科目/(英語名)	日本語 I Advanced Japanese I		
対象年次 1・2年次	講義形態 演習	教室 全学229番教室	
対象学生(クラス等)	留学生・全学部	科目分類 留学生用科目	
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー	担当教員： 嶋津 拓 /Eメールアドレス： shimazu@nagasaki-u.ac.jp /研究室： 留学生センター2階 /TEL： 095-819-2238 /オフィスアワー： 金曜日2・4校時		
担当教員(オムニバス科目等)			
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 (500文字)			
<p>授業のねらい：日本の大学学部で学習・研究するのに必要な上級レベルの日本語能力を習得する。とくに日本語で書かれた各種文書を読解する能力の習得を目指す。併せて、文書で自己を表現(あるいはアピール)する際に必要となる日本語のスキルとマナーを学ぶ。</p> <p>授業方法：①日本語で書かれた、様々な種類の文章(新聞、雑誌、概説書、学術論文)を読む。②日本語で各種依頼文書・申請書等を書く。</p> <p>授業到達目標：①上級レベルの語彙・文字を習得するとともに、論理の構成や展開パターンを把握する能力、速読する能力、大意を理解する能力を獲得する。②文書で自己を表現(あるいはアピール)する能力を獲得する。</p>			
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む) (1300文字)			
<p>授業内容(概要)</p> <p>読解の時間においては、毎回、予習してあることを前提に、授業では、(1)本文の音読、(2)文型・語彙・表現の確認、(3)段落ごとの内容確認、(4)段落と段落の関係確認、(5)テキストの内容に関するディスカッション等を行う。</p> <p>また、自己表現の時間においては、(1)モデル文書の読解、(2)適切または語彙・表現の確認、(3)不適切な語彙・表現の確認、(4)作文等を行う。</p> <p>各回2コマ</p> <p>第1回 授業概要説明/新聞記事(日本経済新聞)を読む(1)</p> <p>第2回 新聞記事(日本経済新聞)を読む(2)</p> <p>第3回 電子メール(依頼文書)を書く(1)</p> <p>第4回 電子メール(依頼文書)を書く(2)</p> <p>第5回 雑誌を読む(1)</p> <p>第6回 雑誌を読む(2)</p> <p>第7回 履歴書を書く</p> <p>第8回 概説書を読む(1)</p> <p>第9回 概説書を読む(2)</p> <p>第10回 申請書(自己PR)を書く(1)</p> <p>第11回 申請書(自己PR)を書く(2)</p> <p>第12回 学術論文を読む(1)</p> <p>第13回 学術論文を読む(2)</p> <p>第14回 学術論文を読む(3)</p> <p>第15回 まとめ/授業評価</p> <p>開講後、受講者の関心・専攻によってはテキストを変更する場合もある。</p>			
キーワード	上級レベルの日本語読解能力の獲得		
教科書・教材・参考書	プリント教材(担当教員が用意する。)		
成績評価の方法・基準等	評価は、授業参加の積極性30%、授業中のリスポンス内容30%、課題(作文)40%によって行う。		
受講要件(履修条件)	日本語能力試験2級合格相当または日本留学試験(日本語科目)200点得点相当の日本語能力を有する留学生。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標	日本の大学学部で学習・研究するのに必要な日本語能力の習得。		
備考(準備学習等)	毎回、必ず予習をしてくること。 1校時目と3校時目の両方とも出席すること。一方のみの出席は認めない。		